

■古瀬伝蔵 農政記者をスタートに、{家の光}を成功に導いた後、農山漁村文化協会を創立してユニークな活動を展開。

ふるせでんぞう
国民之友始・1887＝ 長野県西筑摩郡大桑村で生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 2歳： 木曾山中の尾張藩の林業地で維新後も御料林という封建的色彩の強い貧しい山村に育ち、

日清戦争始・1894＝ 7歳：

白馬会・・・1896＝ 9歳： 早くから立身出世の志を抱き、
大桑尋常高等小学校を優秀な成績で卒業すると、

教科書疑獄・1902＝15歳： 長野県師範学校第三種講習を受けて、
母校大桑尋常高等小学校の代用教員となり、

日露戦争終・1905＝18歳： 近隣の小学校を転々として、俸給を上げて行き、
満鉄発足・・・1906＝19歳： 長野県小県蚕業学校に入学、

本科と、
農業教員志望科を卒業して、

明治天皇没・1912＝25歳： 貴衆両院議員の農政研究会有志と在京の農政記者同志会との会合で自論を展開、大日本農政学会が設立され、
大正政変・・・1913＝26歳： 農商務省蚕業試験場助手になる。勤務の傍ら、師範学校・中学校・高等女学校の教員検定試験に合格し、
第一次大戦始1914＝27歳： 21ヶ条要求・1915＝28歳： 長野県南安北部農学校教諭となる。

本格政党内閣1918＝31歳： 教頭を務めていた時、後に産業組合・農協運動の重鎮となる米倉竜也が校長に迎えられ、
べルサレ条約・1919＝32歳： 長野県師範学校教諭となり、県農業技手・農事講習所技手を兼務、
大暴落・・・1920＝33歳： 更級農学校教諭となる。志願兵として1年入隊し、
原敬首相暗殺1921＝34歳： 陸軍歩兵中尉に任じられ、除隊とともに、_読売新聞の農政記者となり、賀川豊彦・杉山元次郎らによる日本農民組合設立発起人にもなる。

水平社結成・1922＝35歳： 貴衆両院議員の農政研究会有志と在京の農政記者同志会との会合で自論を展開、大日本農政学会が設立され、機関誌{農政研究}にも執筆。日本農民組合創立とともに、理事に就任するも、

関東大震災・1923＝36歳： *早くも撤退するが、大震災で{農政研究}の発行所が壊滅したため、以後、編集発行を引き受け、農商務省・農政指導者・学会会計者の間に人脈を築いて行き、

護憲三派圧勝1924＝37歳： 産業組合中央会主事の千石興太郎に目をつけられ、{家の光}創刊に参画、編集主任となるも、思うように部数が伸びず、

世界恐慌・・・1929＝42歳： 編集主任に梅山一郎が迎えられると、*調査主任に転じて、宣伝普及に力をいれ、{家の光}大会と道府県支会に{家の光}援助者を設置したことが飛躍の契機となり、

満州事変・・・1931＝44歳：
五一五事件・1932＝45歳：
国際連盟脱退1933＝46歳： 産業組合拡充五カ年計画がスタートすると、

_100万部達成を果たすが、{家の光}大会での映画や演劇等の慰安娯楽事業の効果の大きさに目をつけ、

日中戦争始・1937＝50歳：

第二次大戦始1939＝52歳： _映画班を農村に派遣する事業を主とする団体を構想、人脈をいかして準備を進め、
大政翼賛会・1940＝53歳： 内部体制の大変革を理由に、*{家の光}を離れ、産業組合中央会の有馬頼寧会頭をかついで、{農山漁村文化協会}を設立し、常任理事となる。以後も{家の光}と提携、移動映画隊の事業は{農文協}に統合、農林省幹部の理解を得、元山林局長の村上龍太郎の尽力で、映画「山と水」の受託制作に成功、

日米開戦・・・1941＝54歳： 農民歌「瑞穂踊」「国の幸」のレコードと映画を制作、ラジオ歌謡として有名になって行く。_個人誌だった{農政研究}を{農文協}機関誌とし、「農村文化」と改題。大政翼賛会委嘱などで、映画制作と移動映写は急増、
敗戦・・・1945＝58歳： _戦意昂揚と増産推進、供出督励のため、「農村慰安の夕」の企画を農商務省に持ち込んで、まもなく敗戦になると、その趣旨を一変させて、補助金を獲得し、大成功となるが、

新憲法公布・1946＝59歳： *時代激変で続かず、農民クラブ設立も政府補助金が得られず、職員組合運動にも対応できず、挫折。
新憲法施行・1947＝60歳： _公職追放となり、

朝鮮戦争始・1950＝63歳：
独立回復・・・1951＝64歳： 追放解除されるも、復帰できず、

_失意のうちに、

美智子妃・・・1959＝72歳： _没した。